

みなみちた 議会だより

第145号

平成25年11月1日



海っ子バス出発式

◇ 9月定例議会

一般会計補正予算など20議案を可決	2ページ
委員会スポット	4～5
町の考えは・一般質問6氏	6～11
議会日誌・表紙のことば	12

〒470-3495 愛知県知多郡南知多町大字豊浜字貝ヶ坪18
発行/南知多町議会 ☎65-0711
編集/議会広報特別委員会 FAX65-0694

9 月 定 例 会

9月定例議会は9月11日から17日間の会期で開催し、平成24年度一般会計決算始め認定7件、議案10件、請願4件を審議しました。

最終日は議案採決。決算認定、一般議案のほか、請願4件を採択、意見書3件を可決し、9月27日に閉会しました。

採決の結果は、以下のとおりです。

※出席11名、下記の賛否に議長は含みません。

件 名		結 果	賛 成	反 対
認 定	一般会計決算	認 定	9	1
	国民健康保険特別会計決算	認 定	9	1
	後期高齢者医療特別会計決算	認 定	9	1
	介護保険特別会計決算	認 定	9	1
	漁業集落排水事業特別会計決算	認 定	10	0
	師崎港駐車場事業特別会計決算	認 定	10	0
	水道事業会計利益の処分及び決算	認 定	10	0
議 案	新たに土地が生じたことの確認について（大字片名）	可 決	10	0
	公有水面の埋め立てに伴う字の区域の変更について（大字片名）	可 決	10	0
	新たに土地が生じたことの確認について（大字豊浜）	可 決	10	0
	公有水面の埋め立てに伴う字の区域の変更について（大字豊浜）	可 決	10	0
	人権擁護委員の推薦について	可 決	10	0
	延滞金の割合の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定	可 決	10	0
	一般会計補正予算（第二号）	可 決	10	0
	国民健康保険特別会計補正予算（第一号）	可 決	10	0
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第一号）	可 決	10	0
	介護保険特別会計補正予算（第一号）	可 決	10	0
請 願	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願	採 択	10	0
	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める請願	採 択	9	1
	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願	採 択	10	0
	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める請願	採 択	10	0
発 議	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	可 決	10	0
	愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	可 決	10	0
	国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	可 決	10	0

平成24年度決算を認定

9月の定例会及び各委員会では、平成24年度一般会計、5特別会計及び水道事業会計の決算を審査しました。

一般会計は3億6,665万円の黒字となり、1億4,174万円を翌年度（平成25年度）へ繰越すべき財源としました。

その他の会計についても、以下のとおり認定されました。

<一般会計>

歳入	70億2,548万円	(前年度比8.0%減)
歳出	66億5,882万円	(前年度比7.4%減)

<特別会計>

国民健康保険	歳入	29億1,059万円	歳出	27億3,282万円
後期高齢者医療	歳入	2億795万円	歳出	2億597万円
介護保険	歳入	17億2,278万円	歳出	16億3,643万円
漁業集落排水事業	歳入	1億1,958万円	歳出	1億1,287万円
師崎港駐車場事業	歳入	1億53万円	歳出	5,594万円

<企業会計>

水道事業 (収益的収支)	歳入	7億2,422万円	歳出	7億365万円
水道事業 (資本的収支)	歳入	1億9,006万円	歳出	2億8,547万円



いしぐろ まさしげ
石黒 正重

豊浜字半月

【新議員の紹介】

平成25年9月2日、欠員の繰り上げ当選により、石黒正重氏が町議会議員となりました。

9月10日の定例議会初日、所属する委員会が以下のとおり決まりました。

- ・常任委員会 文教厚生委員会
- ・特別委員会 地域公共交通対策特別委員会

委員会スポーツ

文教厚生委員会9月17日

決算関係

問 体育施設費の修繕料が、前年に比べて大幅に増加したが、どのような修繕を行ったのか。

答 総合体育館の浄化槽水中ブローアーの取替、触媒栓の取替、電動式移動観覧席の修繕、冷温水器の修繕、2階トイレ換気扇の取替、メインアリーナブラインドの修繕、運動公園防球ネットの設置等を行った。

問 要保護及び準要保護児童就学援助費は、どのような方を対象に支給しているのか。

また、その対象者は何人か。

答 生活保護費受給者および生活保護に準ずる程度に経済的に困窮し、児童生徒の就学が困難と認められる方を対象にしており、小学生52名、中学生49名の保護者に支給した。

問 中学校費の教育振興費のうち消耗品費が、前年度と比較して大幅な増額となっているが、その理由と金額はどうか。

答 主な理由は、平成24年度より中学校の生徒用教科書が改訂されたため、それに伴い、教師用の指導書・改訂版などの購入が必要となったものである。

問 灯油地下タンク法定機密検査手数料が前年より増額となっている理由は何か。

答 5年に1度の油抜き取り清掃を含むために、増額となったものである。

問 外国人登録事務費が随分減額となっているが、その理由は何か。

答 平成24年7月9日から正に伴い、外国人住民の方も住民基本台帳法の対象になったことから、これまでの外国人登録制度が廃止されたことにより減額となった。

問 保育所臨時職員賃金が、増額になっているが、どうしてか。

答 保育所正規調理員が年度の途中に2名退職したため、臨時職員を雇用したので増額となった。

問 合併浄化槽設置事業費補助金の浄化槽の大きさの内訳は。

答 5人槽18基、7人槽20基、10人槽1基の計39基となっている。

問 生きがい活動支援事業委託料が昨年度と比較して増額となった理由は何か。

答 篠島地区で行われている生きがい活動支援事業の利用者が増加したことに伴い、開催日を週1日から2日に増やしたために増額となったものである。

問 介護保険料の収入未済額は462万円となっているが、滞納者は何人で、一人当たり、どれほどの滞納額となっているか。

答 滞納者は107人であり、一人当たりの平均滞納額は、4万3,000円である。



委員会スポン

総務建設委員会9月19日

決算関係

問 青年就農給付金の受給対象者の内、町外から転入者は何人か。また、最も若い人は何歳か。

答 町外からの転入者は2人であり、受給対象者のうち、最も若い方は27歳である。

問 緊急雇用事業を活用して観光施設台帳データベース作成事業をおこなっているが、どのような方を採用したか。

答 事業委託業者がハローワークを通じて、4名の失業者を4カ月間採用した。年齢構成としては、24歳から37歳まで、男女構成は、男3名、女1名である。

問 公共交通対策事業費の補助金の[※]不用額が多いのは、なぜか。

答 師崎線の利用者が増加したことによる減収額補てん金の不用額が約500万円。

国の補助金の増額による不用額が約400万円。合計として、約900万円の不用額となった。

問 空き家バンク改修費補助が1件で少ないと思うが、なぜか。

答 改修費の補助金の実績としては、浴室ボイラーの改修が1件あった。他の物件については、改修の必要のない物件であると考えられる。



問 町外滞納者は何件あり、滞納理由の把握や対応はどうか。

答 平成24年度末で448件である。その対応については財産調査を行い、滞納者の現状把握に努め、適正な納付指導を行っている。

問 耐震診断の件数の割に耐震改修の件数が少ないのは、何が原因と考えるか。

答 耐震改修費用の高いことが原因と考えられる。

問 総務費の職員手当のうち、時間外勤務手当が昨年より増加しているが、なぜか。

答 機構改革により企画部を新設したことに伴い、総務費で支払う職員の人数が、前年度に比べて5人増加したためである。

問 災害対策費の中の18節の備品購入費に計上されている公用車や避難所用備品は、どんな目的に購入したものか。

答 また、実際に災害時に使用されたのか。

答 公用車は、4輪駆動等機能を考えた災害発生時の現場での活用を想定した指揮車を購入した。

避難所用備品は、避難所で各家庭、世帯を仕切るための間仕切りを購入した。

実際に災害時に使用したかについては、公用車は使用しているが、避難所用備品は、まだ使用していない。

問 財政調整基金残高が増えているので、今までできなかった事業を実施する財源としてはどうか。

答 必要のある事業を実施し、その際に財源が不足した場合には財政調整基金を活用していく。

※予算のうち、支出の必要のなくなった額

南知多町総合計画について



清水英勝議員

問 自治法が法改正され、南知多町総合計画中の基本構成の法的根拠がなくなった。

その反面、独自の自主性・創意工夫が発揮できるようにになった。

総合計画の位置づけを明確にする条例が必要でないか。

また、今後の議会との関係は。

答 齋藤企画部長

総合計画は平成21年度に議会の議決を経て、最上位計画と位置付けられているので、条例で新たに定義づけする必要はない。

今後、基本構想を変える必要が生じた場合は、議会と協議する。

問

総合計画で掲げている6つの基本目標は、行政としては当然、目指すところである。

町として目指す将来像がより町民にわかるよう、例えば、学校教育日本一・福祉日本一など、具体的な目標を掲げた総合計画を作成したらどうか。

答 齋藤企画部長

まちづくりの基本的な考え方、理念は「太陽と海と緑豊かなまちづくり」将来イメージは「人と自然。みんなの汗で光るまち」と示している。それを現在変更する考えはない。

また、今は総合計画を策定する時期ではないので、新たに策定する時期になれば、審議会の構成メンバー選出等について検討する。

問

平成25年度で掲げている「日本一住みやすい町」とは、どんな町か。

答

齋藤企画部長
自然環境が良く、自然災害、人的災害に強く、

福祉が充実され、生活環境が便利で娯楽施設があり、望む働く場所もあり、歴史、文化、伝統が地域に溢れ大切に伝承されており、学びの環境が充実している町。

問

重点目標に記載されている各課の重点施策実施目標をすべて達成すれば、今年度の目標である「人口減少を155人以下に抑える」は達成できるのか。

人口減少の歯止めにより効果がある直接的な施策を行う必要があるのではないか。

6月末現在、人口減少は178人である。

答 齋藤企画部長

人口減少を抑えるための施策を3つの柱で示している。それは、次の3項目である。



▲店舗のシャッターが閉まった内海駅

①安全・安心と快適な生活空間の提供。②生き生きと豊かに働く機会の提供。③良質で多様な学習環境の提供。

この3つの提供をし、目標を達成しようと、職員も個々の施策を具体的に掲げ、全力で取組む姿勢を示している。

そして、個々の施策を実行すると共に、町の皆様と一丸となってさらに良い施策を計画し、実行し、検証し、有効性の高い施策へと進化させていく中で、より効果ある施策が生まれると考える。



▲第6次南知多町総合計画

南知多町振興計画における避難所について



藤井満久議員

問 国の指針で想定される東南海沖地震を受けて、南知多町全体で、一次避難場所は何箇所指定されているか。

また避難場所の高さは、低いところで海拔何メートルになっているのか。

答 渡辺総務部長
津波一次避難場所は、町内全体で61箇所指定している。

昨年の国の南海トラフ巨大地震被害想定を参考に地元区長さんと協議し、一次避難場所は海拔10メートルが一番低い高さとなっている。

問 緊急避難所として機能できる場所は、町内に何箇所あるか。

答 渡辺総務部長
現在、風水害等における避難所や地震・津波発生から警報解除後の二

次避難所は27箇所を指定している。

問 将来、振興計画を基にして現在ある避難所を改築したり、避難所付近の崩壊のおそれのある建物の取り壊しや、避難所の新築・整備を考えているか。

答 渡辺総務部長
現在、避難所のための単独施設はない。小中学校や公民館などの公共施設及び地元の地域に身近な民間施設を、災害時に避難所として利用させていただいている。

今後、愛知県が発表する南海トラフ巨大地震の被害想定における避難所生活者数により、既存の避難所施設が不足するようであれば、新築などの検討をしていく。

問 避難所に避難する道路についても、緊急時の安全を考えると少なくとも2本以上の道路が必要だと考えるが、避難所までの道路の整備についてどのように考えているか。

るか。

答 渡辺総務部長
道路の崩壊やその他の事故等による通行不能を想定すると、複数の道路の確保がより有効であると理解している。

問 避難所の整備に関連して、避難機能としてどのような機能が必要だと考えているか。

答 渡辺総務部長

避難所の物質的な機能としては、非常食や飲料水、毛布、トイレ、ラジオなどの情報設備、間仕切り及び避難所防災資機材を始め、最低1週間程度の衣食住ができる施設が必要だと考えている。

問 現在、備蓄の食料、飲料水は何日分あるのか。

答 渡辺総務部長
備蓄食料は、現在7880食、飲料水は、500mlペットボトルで1008本を備蓄している。

満足のいく数量ではないが、今後備蓄増加に努める。

問 平常時に避難所施設を避難所以外に用途として使用できれば、振

興計画にもある別の対策にもなると思うが、南知多町としてどのような使用を考えているか。

答 渡辺総務部長
振興計画にある別の対策の施設の使用については、現在は、単独施設がないので、必要により補助金を活用して避難所を建設する場合においては、避難所の活用だけでなく、平常時には地区に役立つ、複合的な施設として建設できるよう検討していく。



▲津波一次避難所の旧篠島小学校グラウンド

命を守る高台への道の確保と整備



福田千恵子議員

問 私は、町を良くし、安心安全の町づくりをしたいと思っている。

答 南知多町は、海に面しており、南海トラフ沿いの地震が発生した場合、東日本大地震の時のように津波が大変心配される。町民の生命と財産をいかに守るかを基本姿勢として、避難場所の確保・整備はどのくらい進んでいるか。

答 渡辺総務部長
一次避難場所への避難道路等の整備・修繕は、平成24年度までに合計6箇所を実施し、これ以外の要望箇所は26箇所である。

問 自らの命は自分で守ることが大切だと思うが、南知多町は高齢者が多く、自力で遠くまで避難できない方も多い。短時間で身近な高台へ

と逃げるのが命を守ることに繋がると考える。そのためには、地域ごとで高台への避難道路・避難場所が多数あることが良いと考えるが、その整備はどのように考えているか。

答 渡辺総務部長
今年度、専門家による「災害危険度判定調査」を実施し、まず一次避難場所61箇所を、優先度を決めて必要な整備を進める。

問 大地震に伴う津波対策として、内海小学校において子供たちの逃げるスピードを考えると、屋外から屋上に登れる階段があれば、速やかに避難できると思うがどうか。

答 大森教育長
逃げ遅れた児童や教員、地区住民の方の緊急避難場所の必要性、また複数の選択肢が大切と考えるので、構造強度の課

題、関係法令などを勘案して検討していく。



▲内海小学校

町の活性化

実績は23件。空き家バンク制度の利用で、転入が10世帯24人ある。

問 活性化に向けて具体的対策は。

答 齋藤企画部長
各地域の町づくり協議会に対し、助成を行い運営を支援している。

問 南知多町の人口は、どんどん減っており、町の将来を考えると心配である。
そこで、町を活性化するための方策についてどう考えているか。
日本中至る所で空き家対策をやっているが、南知多町での空き家バンク制度の進捗状況は。

問 少子化対策も町の活性化に欠かせないことだと思うが、少子化への歯止め対策は。

答 齋藤企画部長
町の少子化対策の中に、結婚対策として婚活パーティーを23年度から開催。

妊娠対策として不妊治療への助成、子育て支援対策では3人目以降の子供に一律10万円支給。

同時入所の2人目以降の園児は保育料無料。子供医療の無料化については、通院は小学生まで全額助成、中学から18歳までは二分の一を助成。入院は18歳まで自己負担額の全額助成。

早朝・延長保育の実施、放課後児童クラブも開設し、保護者の働きやすい環境づくりに努めている。子育て支援センターでは親子で遊べる場を提供している。

また、保健師の訪問により、育児不安の相談と情報提供を行っている。

答 齋藤企画部長
約1,700棟の空き家があり、空き屋バンク登録が29件で賃貸、売買

観光客減少への歯止策と 町保有用地や施設の活性化利用を考える



高原典之議員

問

南知多町の観光客の減少が続いており、町としても民間活力を十分発揮できる取り組みが必要であると考え、町における観光産業の位置づけを問う。

答

平山建設経済部長
農業、漁業などの基幹産業のけん引的役割の重要産業と考えている。

問

町管理用地や施設においても、観光目的での運用を柔軟に利用する考えは無いのか。

答

平山建設経済部長
地域の声を聞き、目的外使用の幅をどこまで広げられるか柔軟に対応する。

問

今年度の重点目標シートに、観光客増加の為に広域的に観光振興を推進するとあるが、

具体的に新規に取り入れ行なっている事業と、これから行なう事が決定している事業はなにかあるか。

答

平山建設経済部長
知多半島五市五町で作る知多半島圏観光協議会が来年度で終了するため、現在、新規には行っていない。

海水浴場での 風紀悪化の早期 対策を求める

問

観光客減少の要因の一つに、海水浴場での客や売店に暴力団関係者と思われる者や、刺青をした若者の数が激増している事が考えられる。

兵庫県の須磨海岸では、条例制定後3年目で、お客さんが回復してきたと

ことで、相乗効果も相まってゴミの量が半減したとの報告が上がっている。

いかに風紀の健全化が、全体に良い影響をもたらすか表れている。

町は、風紀の健全化への対応策を何か考えているか。

答

渡辺総務部長
暴力団排除パレードを行ない、健全化に向けて取り組んでいるが効果が上がっていない。
地域がまとまる事によって、打開策も出てくると思うので、今後も地

問

海水浴場条例の制定は考えていないか。

答

渡辺総務部長
まずは、地元地域の関係者が一体となって取り組む事が大切であると考えているので、条例制定は考えていない。

平等な選挙活動 にするために

問

選挙は公平であるべきとの考えから、立候補者は地位や名誉や経済的格差によって、候補者の広報に格差が生まれるような事はあってはならない。

知多半島の多くの市町では、選挙広報条例が制定されていると聞いていますが、南知多町で制定していない理由はなにか。
また、制定する考えはあるか。

答

渡辺総務部長
立候補者締め切りの時期と限られた選挙運動期間の中で印刷が間に合わない理由もあるが、他市町が行っているのですの手法を参考に議会と協議したい。



▲内海海水浴場(千鳥ヶ浜)

町の財政状況と基金の使い道について



吉原一治議員

問

本町は、人口の減少、産業の低迷から、引き続き税収の見込みは厳しく、農業・水産業・観光という我が町の三つの柱は、いずれも今、苦しい状況にある。本町の財政力を示す指標はどうなっているか。また、財政の健全性はどうか。

答

渡辺総務部長

一般的に地方公共団体の財政力を示す数値としては、「財政力指数」が用いられ、この指数が高いほど財政力が強い団体といわれている。平成25年度における本町の財政力指数は、0.54となっており、県内54市町村中51番目であるが、全国の市町村の平均値である0.51を上回っている。また、財政の健全性を示す健全化判断比率はいずれも基準をクリアしている。

問

財政の厳しい中、町では公共事業を減らし、人件費の削減など経費削減を進めてきたが、一方で基金に多額の積立がある。基金残高と使い道はどうなっているか。

答

渡辺総務部長

町の財源不足に充てられる財政調整基金に15億6092万8000円、都市計画事業等の推進を図るための都市計画事業基金が、9億2095万2000円、その他中学校図書購入基金、高齢者福祉基金、減債基金がある。

問

国では、アベノミクの3本の矢のうちのひとつとして、機動的な財政政策を打ち出し、インフラの整備など公共投資による成長戦略を進めている。今、本町に対して、昨年の地区住民会議の場などで皆さんの要望が寄せられている。整備や取り壊しの必要な老朽化した施設もたくさんある。災害時の安全対策や避難施設など必要な

答

渡辺総務部長

老朽化した町の施設や防災・減災に関する対策はもとより、漁港施設の保全・機能強化事業やため池整備、橋梁の耐震化、さらには小中学校校舎や社会教育施設の整備などに多額の費用が見込まれる。

問

今後見込まれるこれらの事業から、必要な事業、有効な事業を選び、実行していかねばならない。基金の活用について、町長の考えはどうか。

答

石黒町長

老朽化施設の解体も地区住民会議での提案事業も限られた財源の中で進めていかねばならない。国や県の補助金も活用しながら考えていく。待ったなしの事業には、財政調整基金を繰り入れて実施することになる。

施設や事業がまだまだ多く残っている。大規模な財政支出を伴う事業として、今後、どのようなものを見込んでいるか。

人口減少に負けない、町民の絆づくりについて



▲老朽化の著しい町公民館体育館(豊浜)

問

人口の減少、少子化によって、地域との交流行事や児童・生徒の指導に支障は出ていないか。

答

大森教育長

小中学校では、運動会・体育祭や学芸会・文化祭などの行事に加え、農産物の収穫体験や漁業体験などを取り入れ、保護者や地域のみなさんとの絆づくりに努めている。しかし、子どもの数の減少、集団的教育活動への影響を受けやすくなることを危惧している。

問

人と人の絆の深さは、この町のよさのひとつである。大きな災害時などには、町民が一体となって助け合い、協力し合える強靱な町を築いていくことも大切だ。町民の強い絆を育てていくことはどうか。

答

石黒町長

町民みんなが知り合いになり、助け合うことの大切さは同感だ。町全体で取り組む防災訓練など必要なことだと思う。じっくりその環境を整えていきたい。

ケアホーム施設のあり方について



山下節子議員

問

障がい者に対する支援については地域移行支援の対象・拡大が明記されている。

病院からケアホーム、グループホームへ地域との共生の支援は、障がい者・健常者にとって重要なことだと考える。

開設された施設が正しい運営をされているか、チェックするための機関はどのようなになっているか。

答

早川厚生部長

共同生活介護施設ケアホームの事業所・施設については、都道府県知事が指定する施設である。正しい運営をされているかは、「障害福祉サービス事業者等指導及び監査実施要綱」に基づき、県の監査指導室により監査指導が行なわれる。町は、県が行なう指導及び監査の実施に際して、

必要事項の照会及び調査に協力していきたいと考えている。

問

認可された後の認可項目に対して、町としてどこまで確認することができなのか。

答

早川厚生部長

町としては、県の指導及び監査が実施された時に、その改善指示事項を順守しているかを、県に確認することができる。

問

入居者の実態把握と、サービス管理責任者の常駐確認はどのようにしているのか。

答

早川厚生部長

必要があれば、県に確認することができる。

問

地域との連携、協働ができることが必要だが、どのように考えているのか。

答

早川厚生部長

施設及び入所者と地域の連携、協働ができることが必要だと考えてい

る。事業者からの相談があれば、協力していきたいと考えている。

問

定員の増等でケアホームを他の場所に追加することは認められており、一事務所において複数のケアホームを運営することも可能。

その場合、主となるケアホームから30分程度の範囲内に所在する必要がある、地元住民にも説明し理解していただく事が重要であると思うが、町はどのように考えているか。

答

早川厚生部長

町としては、施設を計画される方から地域住民の方々に説明し、理解していただくことが重要だと考えている。

南知多町 非核平和宣言を

問

昨年6月議会では、検討するという答弁だったが、どこまで検討されたか。

答

渡辺総務部長

宣言をするということだけでなく、平和行政を考える場合、町民の機運も重要と考え、どういう啓発事業で機運を盛り上げていくか検討した結果、写真や絵を交えたパネル展で原爆の恐ろしさと被爆者の苦しみを伝えていくのが本町にとって、まず必要ではないかと考え、今回パネル30点を購入し、総合体育館ロビーで展示をした。

このパネル展を契機として、町の皆様の一人ひとりが平和を愛し、豊か

で住みやすいまちづくりを努めていただくと共に、核兵器根絶に対する認識を深め、核兵器のない世界を希求していくための催しになればと考え、原爆の投下された8月6日から実施した。

またパネルの貸し出しも行なっていく予定で、戦争を知らない世代が増えていく中で、戦争の悲惨さなどが風化しつつあるので、町民の皆様に平和の尊さ、大切さについて学び考える機会として広く利用してもらいたいと考えている。



▲「ヒロシマ・ナガサキ原爆と人間」パネル展

表紙の写真

来たぞ我らの

海っ子バス

出発式！

10月6日の日曜日に内海駅で海っ子バス出発式が行われました。

観光協会が中心となり、町議会議員も招待を受け、一般の方の参加を合わせると約100人が集った式典となりました。

出発式の式典では、太鼓の演奏やくす玉割り、知多娘。による海っ子バスのPRなど、にぎやかにとり行われました。

また、式典終了後、師崎港まで海っ子バスの試乗があり、ボランティアガイドさんや知多娘。と師崎港まで試乗しました。師崎港では、地元の「羽豆岬案内人の会」の方に羽豆岬を案内していただき、内海から師崎までめいっぱい南知多町を堪能できた一日でした。

議会日誌

《8月》

6日 町議会広報研修会
9日 新人議員研修会
21日 県町村議会議長会

知多地区農業共済
政策審議会
事務組合議会定例会

21日 県町村議会議長セミナー

23日 知多南部広域環境
組合議会定例会

26日 地域公共交通対策
特別委員会

28日 定例郡議長会

《9月》

2日 議会運営委員会
6日 議会全員協議会及び
議員懇談会

11日 9月定例議会（初日）

12日 9月定例議会（二日目）

17日 文教厚生委員会
総務建設委員会

19日 9月定例議会（最終日）

27日 議会広報特別委員会

《10月》

10日 県町村議長会行政調査
11日 県町村議会議長会
21日 理事会

23日 議会広報特別委員会
25日 定例郡議長会

30日 県町村議会議長会
定期総会

＜12月定例会＞お気軽に傍聴に来てください。
傍聴の受付は、8時30分～ 役場2階総務課へ

〈開会予定日〉

12月10日(火) 9時30分 本会議初日（開会・一般質問・議案上程）

12月19日(木) 9時30分 最 終 日（委員長報告・採決・閉会）

(株)知多半島ケーブルネットワークによる録画放送は、

12月22日(日)午前10時 地上デジタル12ch(121)

23日(月)午後10時 地上デジタル12ch(122)

編集室より

一度乗ってみたら

10月1日から海っ子バスの本格運行が開始となりました。豊浜線と比べ少し不便であった西海岸線が、通勤通学で使えるようになったため、ぜひみなさんに利用していただきたいと考えています。

町広報にもでていましたが、バスと電車を使って通学する場合、河和駅を利用するより内海駅を利用した方がリーズナブルになるってみなさん御存じでしたか？

ぜひ南知多町唯一の電車の駅「内海駅」をたくさん利用してください。

また、西海岸線のバスにはテレビが付いていることもみなさん御存じでしたか。バスに乗ると南知多町のPRビデオが流れています。

今後は知多娘。などが登場して南知多町をPRするそうですので、乗るだけで楽しいバスになりそうです。

これを機会に一度乗っていただき、バスを盛り上げてください。

N・T

皆の声を

町民の皆さんの声をお待ちしています。読後のご意見・ご感想を議会事務局までお寄せ下さい。

TEL 05-0711 (内線3001) FAX 05-0694
E-mail gikai@town.minamichita.lg.jp

町のホームページ

<http://www.town.minamichita.lg.jp/>

ホーム>暮らしの情報>議会

再生紙使用